

令和6年度 飯豊小学校教職員 働き方改革アクションプラン

～「元気が一番！」元気な姿で子供の前に立つために～

飯豊小学校では、「北上市教職員働き方改革プラン(R4~6年度版)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現状

[定量的現状]

- ◆ 「北上市教職員働き方改革プラン(R4~6年度版)」目標達成状況について
「時間外在校等時間が月80時間以上のものを前年度比3割減とする。」
 - ・R4年度2人の3割減:目標1人、実績:R5年度5人
- 「時間外在校等時間が月100時間以上の者をゼロにする。」
 - ・R4年度:0人、R5年度:2人

[定性的現状]

- 教職員の意識
 - ・当校で推進する働き方改革の取組が全教職員に徹底されている。
 - ・時間外勤務している教職員が固定している。
- 管理職のマネジメント
 - ・新たな業務が発生した際、スクラップアンドビルドの視点を持って業務見直し等の対応を行っている。

2 目標・目指す姿

<R6年度目標>

- 北上市教職員働き方改革プラン(R4~6年度版)」に掲げるR6年度の目標を達成します。
- 本校に勤務する先生方の「元気」と「やる気」を向上します。

<目指す姿>

- ・ 子供たちへの質の高い教育を持続的に提供し得る観点から働き方の見直しが図られている。
- ・ 業務改善について、教員から積極的に提案がなされている。
- ・ 働き方改革に係る課題について、学校全体で共有し、その解決を図る場が定期的に設定されている。
- ・ 管理職が日頃から、教職員に対し業務改善の啓発を行っている。
- ・ 教職員が、プライベートの時間を十分に確保できている。
- ・ 教職員がいきいきとやりがいをもって、子どもたちに向き合うことができている。

3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

○ 教職員の健康管理

- ・ 時間外在校等時間が80時間を超える職員については、産業医への報告の取組を確実に実施し、教職員の健康を確保します。また、月の途中で月の時間外在校等時間が60時間超となった教職員に対して、当該時間を知らせるとともに、健康確保の観点から、個人面談をします。
- ・ 管理職が職員へ積極的に声掛けを行なうことで、職員の状況を的確に把握します。
- ・ 健康相談事業等、職員の状況に応じ、共済保健事業についての活用を促進します。

○ 学校における業務改善の推進

- ・ 管理職が、学校行事の精選・改善について積極的に提案します。
- ・ 20時以降の勤務をできるだけしないように働きかけを行い、業務を効率的に進められるよう意識化していきます。
- ・ 職員の意識改革を目的に、働き方改革の具体的な実践事例を紹介していきます。
- ・ 定期的に、学校における働き方の取組状況を振り返る場を設定しています。(安全衛生委員会等)
- ・ 校報については紙での配付を廃止し、ホームページやメールでの配付・周知を行います。
- ・ 会議の進め方についてDXにより合理化を図ります。

○ 学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進

- ・ 対外的な行事や地域行事への対応については、職員の負担減も鑑みながら、関係団体との協議を進めながら縮減化・簡略化が図られるよう調整します。
- ・ 児童の登下校の見守り活動について、地域や保護者の理解・協力を得ながら進められるよう働きかけます。
- ・ 教職員参加の地域行事等について、学校の実情を踏まえて精選等を行います。
- ・ 働き方改革に向けた取組について、校報等を活用しながら、保護者の理解をいただけるようにします。

令和6年4月12日 飯豊小学校長 佐藤 加奈子

(参考)「北上市教職員働き方改革プラン(R4~6年度版)」(抜粋)

【策定趣旨】

- 働き方改革の実現により、未来を担う大切な子どもたちに、質の高い教育の持続的提供につなげる。

【プランの目標】市内小中学校の教員の時間外在校等時間の縮減

(1) 時間外在校等時間が月100時間以上の者をゼロにする。

・令和4年度実績(6月調査)	7人	割合	1.2%
・令和5年度実績(6月調査)	9人	割合	1.6%

(2) 時間外在校等時間が月80時間以上の者を段階的に縮減し、令和6年度末までにゼロにする。

・令和4年度実績(6月調査)	38人	割合	6.7%
・令和5年度実績(6月調査)	34人	割合	6.2%